

# 育友会だより

泰日協会学校バンコク校  
育友会 会長 小林 慶次郎

日頃より育友会活動にご理解とご協力頂き誠にありがとうございます。本年度は、これまでの「PTA」から「育友会」へと名称を変更し、新たな一步を踏み出した年となりました。この名称には、保護者と教師が共に手を携え、子どもたちの健やかな成長を支えていくという思いが込められております。育友会に名称は変わりましたが、これまでと変わらずタイの地で子供たち自身の成長に繋がる環境を支えていけるように活動を続けてまいりました。その中で、本年度は、小・中学部合同で「TJAS スポーツフェスティバル」が国立競技場で開催されました。広大なフィールドの大観衆の中、学年枠を超えた仲間たちと同じ目標に向かって協力し喜びを共有する姿はとても印象的で、子どもたちにとっても大きな「繋がり」の中で成長していく大切な経験だったと思います。年度の終わりが近づいてまいりましたが、スポーツフェスティバルに限らず年間通して育友会の活動にご協力頂き、子どもたちの成長を共に見守り支え、一緒に進めて頂きましたことを改めてお礼申し上げます。残り少ないですが、子どもたちにとって実りある時間となるよう、育友会として引き続きお手伝いさせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。最後に、育友会役員の任期を終えるにあたり、これからも子どもたちが、さらに成長し、素晴らしい未来を切り開いていくことを願っております。ありがとうございました。 育友会会長 小林 慶次郎

## 本部



本年度はコロナも明け、さまざまな活動が再開し、こと育友会においても皆さまと一緒に様々な試みをご理解を得ながら進めて参りましたこと、ここに改めてお礼申し上げます。

我々のよりどころである“**全ては子どもたちのために！**”を合言葉に本日までこの大切なバトン繋いで参りました。次月からは、未来の担う子どもたちのために、我々本部役員としてこの大切なバトンを次の本部役員に受渡し、志を一つにして取り組んで参ります。

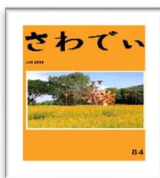
今日まで、さまざまな場面で、いろいろなご支援ご協力を賜りましたこと、我々本部役員全員は、決して忘れません。これも“**一期一会**”だと感じております。

心からお礼申し上げます。ありがとうございました。本年度の活動で得られた出会いや感動は、未来を担う子どもたちのために、次の世代へ引き継いで参ります。

本年 3 月で我々令和 6 年度本部役員の任務は完了いたしますが、引き続き次年度役員へ皆さまの心温まるご支援ご協力をお願いをさせていただき、任期終了のご挨拶とさせていただきます。本当に 1 年間ご支援ご協力ありがとうございました。/ kh'cop khun khraap !

本部役員一同

## 広報部



今年度さわていは、前半・後半 2 回に分けての発行で、当初、期待と不安もございましたが、部員一同力を合わせ、無事に皆さまの元へお届けする事ができました。前半号では先生方の紹介ページ、後半号では、記念になる第 1 回 TJAS スポーツフェスティバルを掲載し、ギネス記録に挑戦など、皆さまの期待に沿えるページが出来たと思います。他にも皆さまに楽しんでいただけるよう、学校紹介やタイ特集も組みました。教職員の皆さまには、取材ご協力、各種コメント、行事写真ご提供等々、さわてい発行に多大なるご協力をいただき心よりお礼申し上げます。

広報部の活動に際しまして、1 年間ご支援ご協力本当にありがとうございました。次年度も引き継ぎよろしくお願いいたします。

広報部一同

## バス部



今年度は、昨年までのイベントだけでなく、初めて修学旅行の空港送迎バスの手配や授業参観の際の保護者バス運行のお手伝いをさせていただきました。無事対応できて良かったと思います。また、子どもたちの「安全・安心・快適なバス」通学を目指し、いろいろ取り組んで参りました。

改めてアパート代表の方々、保護者の皆さま、バス部を担当して下さった先生方をはじめとする教職員の皆さま、バス部の活動にご理解ご協力いただき、心より感謝申し上げます。

1 年間本当にありがとうございました。

バス部一同

## 卒対



今年度も卒業アルバム制作、卒業記念品の選定、発注を小学部・中学部両委員会が行って参りました。初めの頃は不安や心配もございましたが、皆さまとの活動を通じ、今年度もたくさんの笑顔の写真と思い出がいっぱい詰まったアルバム、そして素敵な記念品をお渡しできそうです。たくさんの思い出と共に子供たちの宝物になれば嬉しく思います。

本年度は、先生方、保護者の皆さまには、いろいろご支援ご協力を賜り、感謝申し上げます。引き続き次年度以降もご理解ご協力の程よろしくお願いいたします。

卒業対策委員一同